

2019 年 5 月 30 日
 インベナジー・ジャパン合同会社
 SB エナジー株式会社

小海高原太陽光発電所の運転開始について

インベナジー・ジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、職務執行者：天野 明、以下「インベナジー・ジャパン」）と SB エナジー株式会社（エスビー エナジー、本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 茂基、以下「SB エナジー」）は、大規模太陽光発電所（メガソーラー）「小海高原太陽光発電所」の営業運転を、2019 年 6 月 1 日から開始します。

長野県南佐久郡小海町に所在する「小海高原太陽光発電所」は、敷地面積が約 18 万 m²（約 18ha）、最大出力規模が約 1 万 300kW（約 10.3MW）、年間予想発電量が約 1,247 万 2,000kWh（一般家庭 3,464 世帯分の年間電力消費量に相当する規模）を見込む発電所で、インベナジー・ジャパンと SB エナジーが設立した特別目的会社（SPC）「小海高原ソーラー・エナジー合同会社」が運営します。

Invenergy LLC President & COO（Chief Operating Officer）の Jim Murphy は、次のように述べています。

「この事業はインベナジーにとって、日本で初めて運転を開始するプロジェクトであり、グローバルな持続可能エネルギーソリューションの開発者、事業者としての重要なマイルストーンとなります。高い評価を得ている有力なパートナーの SB エナジーとの協業により、再生可能エネルギーの導入拡大ができることを喜ばしく思っています」

SB エナジー株式会社 代表取締役社長の三輪 茂基は、次のように述べています。

「豊富な知識と経験に基づき、再生可能エネルギーの普及拡大をグローバルに進めるインベナジー、ならびにインベナジー・ジャパンとの協業により、小海高原太陽光発電所の運転を開始できたことを大変うれしく思います。今回の共同事業を礎に、SB エナジーは今後も日本国内を含むグローバルな再生可能エネルギーの普及拡大をさらに推進していきます」

インベナジー・ジャパンは、2013 年より経済産業省の再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）に基づき、出力規模約 34 万 kW（約 340MW）の太陽光発電および風力発電の開発推進を行ってきました。日本で成長した結果、新オフィスへ移転して、新しい人材の確保を目指しています。

再生可能エネルギー発電事業の開発においてグローバルな実績を持つ Invenergy LLC（本社：米国イリノイ州シカゴ、CEO：Michael Polsky、以下「インベナジー」）の日本法人であるインベナジー・ジャパンの発電事業に、日本国内での太陽光発電事業で豊富な実績を持つ SB エナジーが共同参画することで、両社は日本国内における自然エネルギー発電事業のさらなる開発を可能としていくことを目指します。

■「小海高原太陽光発電所」の概要

所在地	長野県南佐久郡小海町
敷地面積	約 18 万㎡ (約 18ha)
出力規模 (太陽電池容量)	約 1 万 300kW dc (約 10.3MWdc)
年間予想発電量 (初年度)	約 1,247 万 2,000kWh 一般家庭約 3,464 世帯分の年間電力消費量に相当 ※1 世帯当たり 3,600kWh/年で算出
運転開始日	2019 年 6 月 1 日

■小海高原太陽光発電所の全景写真



■インベナジー・ジャパンについて

インベナジー・ジャパンは、米国の **Invenergy LLC** の日本子会社です。インベナジーおよび関連会社は、米国および欧州において大規模な再生可能エネルギーその他のクリーンエネルギーによる発電所および蓄電池設備の開発、保有および運転を行っています。インベナジーはエネルギーの革新を推進します。インベナジーおよび関連会社は、風力、太陽光、天然ガス燃料発電およびエネルギー貯蔵について、2,260 万 kW (2 万 2,600 MW) 以上の案件の運用、建設、開発を行っています。詳しくはこちらをご参照ください。
<http://japan.invenergyllc.com>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。